

僕はアンドレアスと申します。オスロ大学日本語科の一年生です。今日は僕がどうして、日本に興味をもったかをお話ししようと思います。

僕がはじめて日本のフィクションを読んだのは、十さいのころでした。

友だちのお兄さんからドラゴンボールと言うまんがをかりました。

それは前に読んだどの本よりおもしろくて、かっこよかったです。

それに、まんがには絵があったので、読むのが本よりもっと楽しかったです。

でもそのころ僕はもちろん、日本語ができませんでしたから、まんがは英語で読みました。

ドラゴンボールが本当におもしろかったので、それから僕はネットで日本のまんがをしらべはじめました。

それから僕はまんがをたくさん読みました。

さらに、はじめてライトノベルという本も買いました。

ライトノベルというのは、ふつうの本よりみじかくて、さしえが入っている本のことです。

そしてふつうは二百ページぐらいのものです。

そのころ僕はまだ英語で読んでいましたが、英語のほんやくには日本語の単語が少し出てきました。

たとえば「さん」や「先輩」という単語やけいごです。

「さん」や「先輩」の意味がよく分からなかったので、僕はネットで、調べてみました。

またノルウェー語にはけいごはぜんぜんないので、興味をもったのです。

それからこんどはまんがではなくて日本語について、色々なことを調べました。

特に僕はけいごや漢字に興味をもちました。

そして、ある時ネットでライトノベルのほんやくかに会いました。

その人は僕にほんやくについて、たくさんおしえてくれました。

それで僕もほんやくかになりたいと思って、自分で日本語を勉強してみました。

でもすぐにそれはとてもむずかしいとわかって、僕はオスロ大学に入って、日本語を勉強することにしました。

そういうわけで、僕が日本語を勉強しているの理由は、ほんやくかになりたいからなのです。

たくさんまんがやライトノベルを読んだおかげで、僕は日本語に興味をもち、ネットで日本語を調べてみました。

そして、僕はライトノベルのほんやくかに会いました。

そのほんやくかは今、僕の友だちです。

僕はしょうらいに、その友だちがつとめている会社で働きたいです。

でも、もっとむずかしい日本文学をほんやくするのも面白いかもしれないので、それもいつかしてみたいです。

もちろんその前に、僕は日本語がもっと上手になればいけません。

だからこれから数年は日本語をいっしょうけんめい勉強しようと思っています。ごせいちょうありがとうございました。